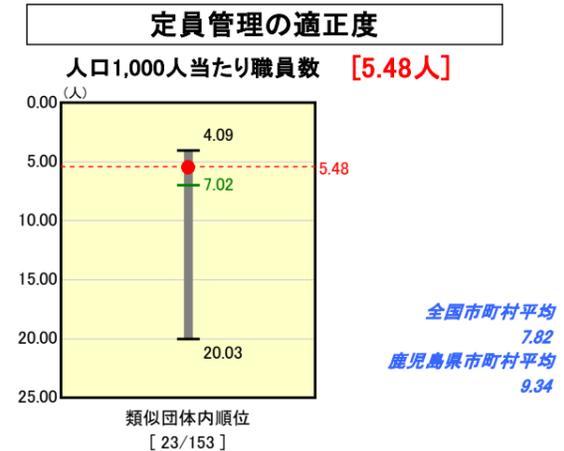
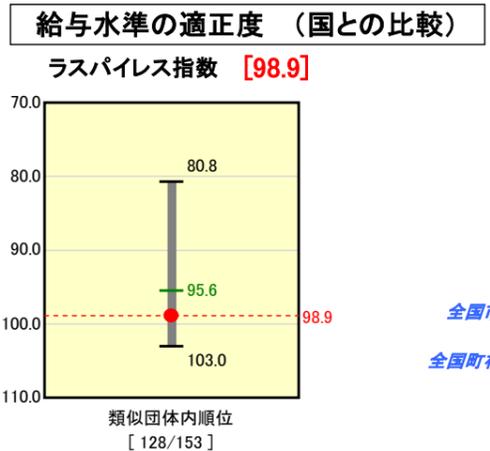
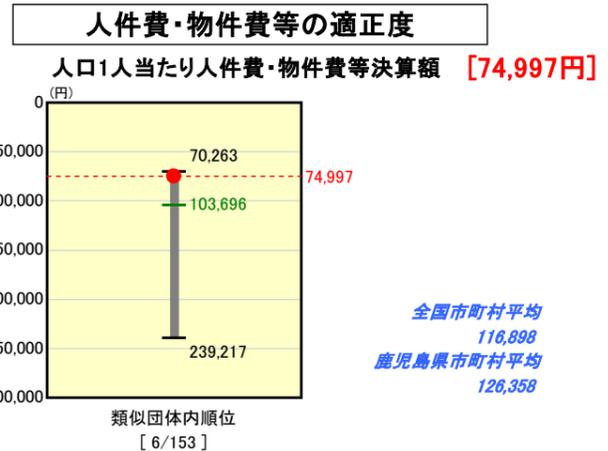
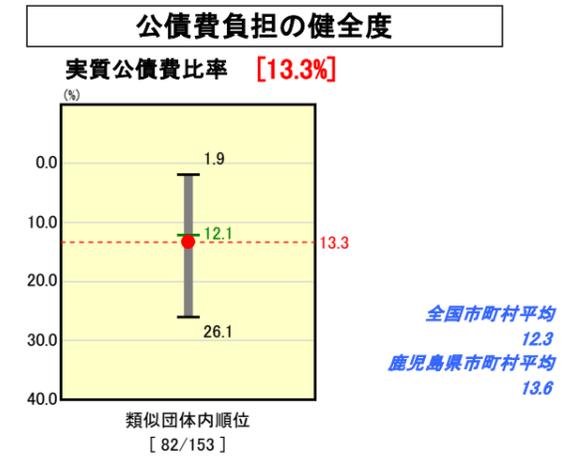
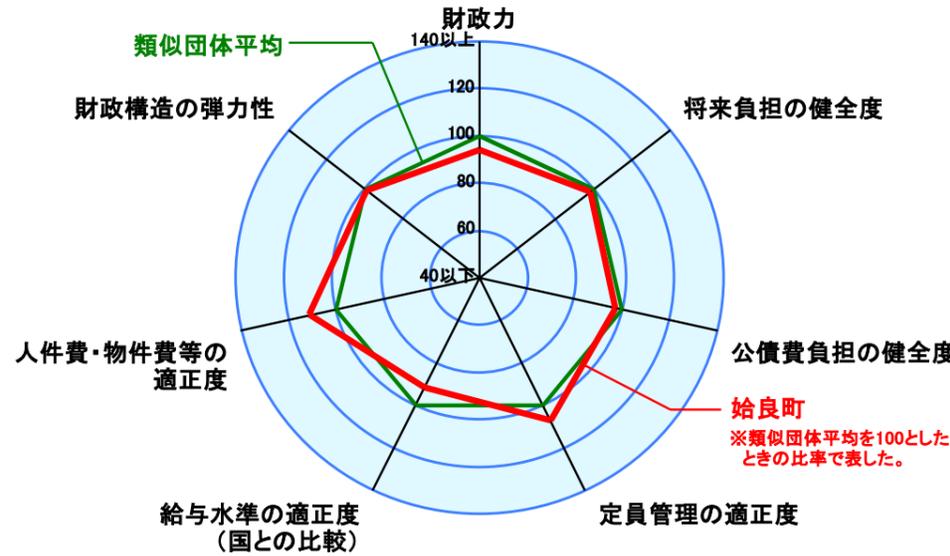
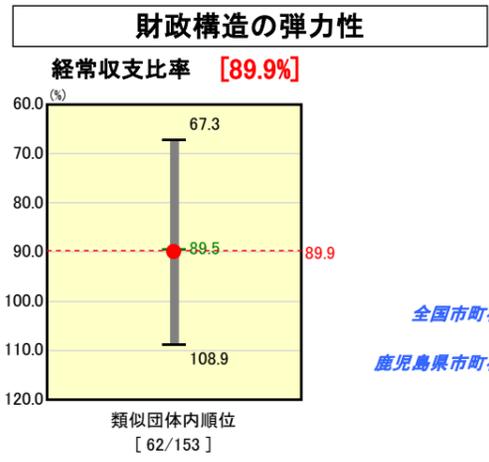
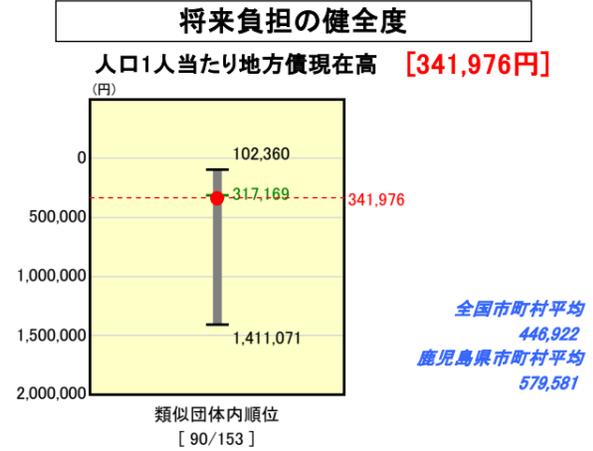
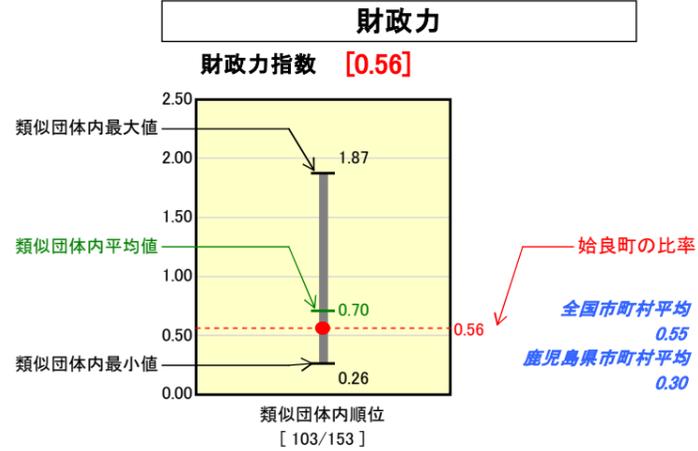


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 鹿児島県 始良町

人口	45,762 人(H20.3.31現在)
面積	102.52 km <sup>2</sup>
歳入総額	11,254,841 千円
歳出総額	10,950,432 千円
実質収支	290,258 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイルス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

①**財政力指数**:ここ数年連続して伸び0.56となっているものの、地方交付税や国庫支出金への依存度が高く、類似団体平均は下回っている状況が続いている。経済不況等により町税等の自主財源の確保が今後の課題となるため、滞納処分等の強化により滞納額の圧縮に努める。

②**財政構造の弾力性**:人口の増加や高齢化の進展に伴う扶助費の増加傾向や、道路等の生活基盤整備を行ってきたことに伴う公債費の増高の影響で、89.9%と類似団体平均をやや上回っている。第6次総合計画や毎年度策定する実施計画に基づき、地域住民のニーズにあった事業の取捨選択を行い、さらなる経費の抑制に努める。

③**人件費・物件費等の適正度**:第3次職員適正化計画による職員の削減や経常的な事務経費等の削減により、74,997円と類似団体平均を大きく下回っている。今後も引き続き、適正な定員管理に努めるとともに、事務経費等について予算要求時にシーリング枠を設けるなどして抑制に努める。

④**ラスパイルス指数**:年齢及び経験年数の高い職員が集中しているため、98.9と類似団体平均を上回っている。国・県の動向や、本町の財政状況等も勘案して、引き続き適正化に努める。

⑤**人口1人当たり地方債現在高**:総合運動公園体育館建設事業や土地区画整理事業、人口増加に伴う学校・道路等の基盤整備に伴う地方債の発行により、341,976円と類似団体平均を上回っている。今後は事業の必要性・緊急性等を考慮しながら、地方債の新規発行の抑制に努める。

⑥**実質公債費比率**:過去に行った総合運動公園体育館建設事業や土地区画整理事業等の大型事業の際に発行した地方債の償還が始まったことに伴い、13.3%と類似団体平均を上回っている。今後も数年間は上昇するものと見込まれているため、新規の地方債発行額を抑制するなどの対策に努める。

⑦**人口1,000人当たりの職員数**:ここ数年間、第3次定員管理適正化計画に基づく職員数の抑制を図ってきた結果、5.48人と類似団体平均を下回っている。今後も住民サービスを低下させないよう配慮しながら、定員管理の適正化を図る。